



# 福島リサーチカンファレンスの開催について

平成29年6月29日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構



# 福島リサーチカンファレンス(FRC)について

## 概要

廃炉関連の基盤研究を取り扱う『福島リサーチカンファレンス(FRC)』を福島県で継続的に開催し、廃炉研究関連分野における最高ステイタスの会議を開催する。

- JAEA が開催する廃炉に関する国際セミナーをFRC として、廃炉基盤研究プラットフォーム事業の中に位置づける。
- 文科省人材育成公募の枠外の各大学、高専、学協会主催の福島廃炉関係の情報交換会議の類も、FRC の一つとして周知することも可とする。
- 中長期ロードマップにも、「国内外の叡智をさらに結集し、総力を挙げた研究開発を進める」とされている。

## 目的及び効果

- 廃炉に関連する種々の分野で時代をリードする研究者を世界中から招集。
- 学生、若手研究者も当事者として参加し、先導的研究者と議論を交わす。
- 廃炉研究に関心を持つ若手研究者および学生の裾野を広げる。
- 年間を通してこの会議が開催され、福島県浜通に優れた人たちがコンスタントに集まる。当該地方の知名度を押し上げ、福島の地域・産業振興に貢献する。
- 廃炉研究のリーダーシップの一角を日本が担っていることが、世界的に認知される。

## 研究分野の構成例

- ①核種分析、②過酷事故進展解析、③被ばく防護と除染、④遠隔技術、⑤プロジェクト・マネジメント、⑥コンクリート構造物の保全、⑦腐食予測と防食、⑧検査技術、⑨補修技術、⑩燃料デブリの物性と処理、⑪放射性廃棄物の処分、⑫臨界管理

開催日	開催テーマ	開催場所	特記事項
H29年6月20-21日	廃止措置及び廃棄物管理におけるセメント系複合材料に関する研究カンファレンス	富岡 (学びの森)	企画委員会(主査:佐藤北大名誉教授)による開催
H29年7月5-6日	シビアアクシデント時の燃料・炉心破損に係る、材料科学、熱力学、シビアアクシデント解析とモデリングに係るワークショップ	富岡 (学びの森)	ACTINIDES 2017に合わせて開催
H29年9月5-7日 (日程調整中)	「燃料デブリ」に関する研究カンファレンス (タイトル・コンテンツについて調整中)	富岡 (学びの森)	福井大と共同で開催企画委員会準備中
H29年11月27-29日	Fukushima Research Conference on “Corrosion Prediction and Mitigation for Key Components of Fukushima Daiichi NPP”	富岡 (学びの森)	企画委員会(主査: Prof. FERON(CEA))による開催
H29年11月30日	FRC on Remote Technologies in Nuclear Facilities 2017 (仮)	檜葉	

「廃止措置及び廃棄物管理におけるセメント系複合材料に関する研究カンファレンス」

日時：平成29年6月20日(火)～22日(木)

場所：富岡町文化交流センター「学びの森」他

今後の廃止措置研究の促進を図るため、廃止措置及び廃棄物管理で多岐にわたって利用されているセメント系複合材料を中心に、最新の知見に関する意見交換を行った。  
本年4月の富岡町の避難指示の解除後、初めてのFRC開催となった。

○6月20日(火)一般公開 …… 参加者約100名

開会挨拶 佐藤正知名誉教授(北海道大学・企画検討会主査)

講演「本カンファレンスの研究開発への反映」 芦田ディビジョン長(CLADS)

講演「福島第一原子力発電所の廃棄物管理」 伊藤グループマネージャー(東京電力ホールディングス(株))

セッション1 「欧米における廃止措置への材料研究の活用」

セッション2 「大学等における廃止措置への材料研究の活用」

○6月21日(水)専門家会合 …… 参加者約70名

セッション3 「廃止措置全般にわたるセメント系材料の活用」

セッション4 「処理処分におけるセメント系材料の活用」

ポスターセッション 大学生等の若手研究者による21件

昼食を含めて2時間45分にわたって熱心な議論が行われた。

○6月22日(木)専門家会合 …… 参加者24名

JAEA櫛葉遠隔技術開発センター及び福島第一原子力発電所を見学

## 第1回FRCの開催結果について(2)

- 本カンファレンスでは、海外から専門家6名〔米国(SRNL)、英国(NNL、セラフィールド社、シェフィールド大)、仏国(CEA)〕が参加した。
- 議論を通じて、福島第一原子力発電所の廃止措置を促進するために、国内外の機関の更なる研究協力の重要性が認識された。
- 参加者の約1/4が留学生を含む学生であり、若手研究者の積極的な参加及びポスター発表は今後に向けて有意義であり、廃炉研究を進める上での大きな成果となった。



【カンファレンス集合写真】



【会議の様子1】



【ポスターセッション】



【会議の様子2】